



平成29年度第2回 総合教育会議

日時 2017年10月18日(水) 午後1時30分

場所 森谷産業旭ビル4階 第1会議室

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事録署名人の決定
- 4 議事
 - (1) 地域における子どもの育ちや見守りについて
 - (2) その他
- 5 閉会

出席者名簿（敬称略）

教育長	平 岩 多 恵 子
教育委員会委員	中 林 奈 美 子
	小 竹 伊 津 子
	大 津 邦 彦
	飯 島 広 美
市 長	鈴 木 恒 夫

関係職員	教育次長	小 林 誠 二
	教育部長	村 上 孝 行
	教育総務課長	神 原 勇 人
	子育て企画課主幹	川 口 浩 平
	地域包括ケアシステム 推進室主幹	三 ツ 井 幸 子
	地域包括ケアシステム 推進室室長補佐	越 川 正 興

事務局	企画政策部長	渡 辺 悦 夫
	企画政策課長	佐 保 田 俊 英
	企画政策課主幹	須 藤 和 久
	企画政策課主幹	諏 訪 間 光

平成29年度第2回総合教育会議席次

窓 側

鈴木市長		平岩教育長	
小竹委員		中林委員	
大津委員		飯島委員	

(事務局)

渡辺部長
佐保田参事
須藤主幹
諏訪間主幹

講師	
----	--

小林次長	村上部長	神原参事	
------	------	------	--

川口主幹	三ツ井主幹	越川補佐	
------	-------	------	--

地域における子どもの居場所等に係る取組

1 背景

近年、格差社会の拡大、地域のつながりの希薄化、核家族化の進行等により、子どもや家庭を取り巻く環境が様々に変化しております。子どもの健やかな育ちには、地域における多様な世代の人や子ども同士の交流、様々な体験が重要であり、地域の特性に応じて、保護者や学校、ボランティアやNPO法人等が連携し、地域社会全体で豊かな育ちの場や機会を提供していくことが求められています。

これまで本市では、保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図るため、居場所、生活の場を提供する児童クラブ事業やひとり親家庭や経済的に困難を抱えている家庭への支援として子どもの生活支援事業や学習支援事業などを実施するとともに、地域の縁側事業では住民同士のつながりや支えあいを大切にしながら、人の和を広げ、誰もがいきいきと健やかに暮らせるまちづくりを進めております。

また、地域団体やNPO法人等においても、子どもの孤食の防止、遊びの場の提供、学習支援、子ども食堂等、子どもの居場所づくりに積極的に取り組まれております。

市内の地域における子どもの居場所等に係る取組の一例をお示しいたします。

2 子どもの居場所等に係る取組の一例

- 放課後児童クラブ（放課後の居場所） *児童クラブ事業
- 地域子どもの家・児童館（放課後の居場所） *青少年施設
- こども♪まるだい（生活支援・食事の提供） *子ども生活支援事業
- キッズ☆こもでい（生活支援・食事の提供） *子ども生活支援事業
- きずなレッジ（学習支援） *学習支援事業
- ふじきた教室・大庭教室（学習支援） *学習支援事業
- たきのさわパラダイス（放課後の居場所） *地域の縁側事業
- ひだまり片瀬（多世代の居場所） *地域の縁側事業
- まりあ食堂（食事の提供）
- 湘南台MOPHOME 寺子屋（食事の提供・学習支援）

以 上

まな わ ひと わ げん き わ ～ 学びの環 ・ 人の和 ・ 元気の輪 ～

マップ



きょう いく たい こう ふじさわ教育大綱

まな わ ひと わ げん き わ
～ 学びの環 ・ 人の和 ・ 元気の輪 ～

2016年(平成28年)5月

私たちは、学びを通して未来への夢や目標に向かって生きる力を育み、やさしく手を差し伸べあう笑顔あふれる幸せなまちをつくりたいという願いをもっています。

この願いをかなえるため、豊かな郷土の自然や歴史、文化などを学びながら、人や地域との関わりの中で道徳や調和を大切に、健やかな心と体をつくる郷土愛あふれる藤沢の教育を「学びの環」、「人の和」、「元気の輪」として未来へつないでいきます。

1 いつでもどこでも誰でも学ぶことができ、学んだことを地域でいかし自らの成長に結ぶ「学びの環」を広げましょう。

1 マルチパートナーシップに基づき、地域社会で共に生き支えあう「人の和」を広げましょう。

1 心身の体力を育み、豊かな心で、自他を尊重して行動し、健やかな毎日を過ごす「元気の輪」を広げましょう。

市内の主な公共施設等

1 藤沢市役所	16 藤沢市民病院	31 湘南台文化センター	46 大庭城址公園
2 六会市民センター・公民館	17 藤沢市保健所	32 ふじさわ宿交流館	47 奥田公園
3 六会市民センター石川分館	18 北部環境事業所	33 藤澤浮世絵館	48 片瀬山公園
4 片瀬市民センター・公民館	19 リサイクルプラザ藤沢	34 藤沢市アートスペース	49 神台公園
5 明治市民センター・公民館	20 石名坂環境事業所	35 秩父宮記念体育館	50 桐原公園
6 御所見市民センター・公民館	21 南消防署	36 秋葉台文化体育館	51 湘南台公園
7 遠藤市民センター・公民館	22 北消防署	37 石名坂温水プール	52 少年の森
8 長後市民センター・公民館	23 藤沢警察署	38 総合市民図書館	53 新林公園
9 辻堂市民センター・公民館	24 藤沢北警察署	39 南市民図書館	54 長久保公園
10 善行市民センター・公民館	25 藤沢郵便局	40 辻堂市民図書館	55 八部公園
11 湘南大庭市民センター・公民館	26 藤沢北郵便局	41 湘南大庭市民図書館	56 ひきざり親水公園
12 湘南台市民センター・公民館	27 片瀬漁港	42 県立総合教育センター	57 舟地藏公園
13 鵜沼市民センター・公民館	28 湘南港	43 県立体育センター	58 翠ヶ丘公園
14 藤沢公民館	29 湘南藤沢地方卸売市場	44 秋葉台公園	59 県立湘南海岸公園
15 村岡公民館	30 藤沢市民会館	45 遠藤公園	60 県立辻堂海浜公園



ふじさわ教育大綱

きょう いく たい こう
～学びの環・人の和・元気の輪～

2016年(平成28年)5月

基本的な考え方(前文)

私たちは、学びを通して未来への夢や目標に向かって生きる力を育み、やさしく手を差し伸べあう笑顔あふれる幸せなまちをつくりたいという願いをもっています。

この願いをかなえるため、豊かな郷土の自然や歴史、文化などを学びながら、人や地域との関わりの中で道徳や調和を大切にし、健やかな心と体をつくる郷土愛あふれる藤沢の教育を「学びの環」、「人の和」、「元気の輪」として未来へつないでいきます。

基本的な方針(本文)

- いつでもどこでも誰でも学ぶことができ、学んだことを地域でいかし自らの成長に結ぶ「**学びの環**」を広げましょう。
- マルチパートナーシップに基づき、地域社会で共に生き支えあう「**人の和**」を広げましょう。
- 心身の体力を育み、豊かな心で、自他を尊重して行動し、健やかな毎日を過ごす「**元気の輪**」を広げましょう。



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

市民憲章

1964年(昭和39年)7月1日制定

前文

わたくしたち藤沢市民は、藤沢市を豊かな明るい美しい産業、文化、観光都市とするために、市民ひとりひとりが守るべき規範として、ここに市民憲章を定めます。

本文

- 1 元気で働き、明るい家庭をつくりましょう。
- 1 つねに健康な心とからだをきたえましょう。
- 1 いつもだれにも親切にしましょう。
- 1 きまりをまもり良い風習をそだてましょう。
- 1 教養を深め、文化の高いまちをきざしましょう。

市の木



クロマツ
1970年(昭和45年)
10月1日制定

市の鳥



カワセミ
1992年(平成4年)
10月1日制定

市の花



フジ
1970年(昭和45年)
10月1日制定

今後の開催日程等について

総合教育会議の開催日程等については、次のとおり予定しています。

あらかじめご承知おきください。

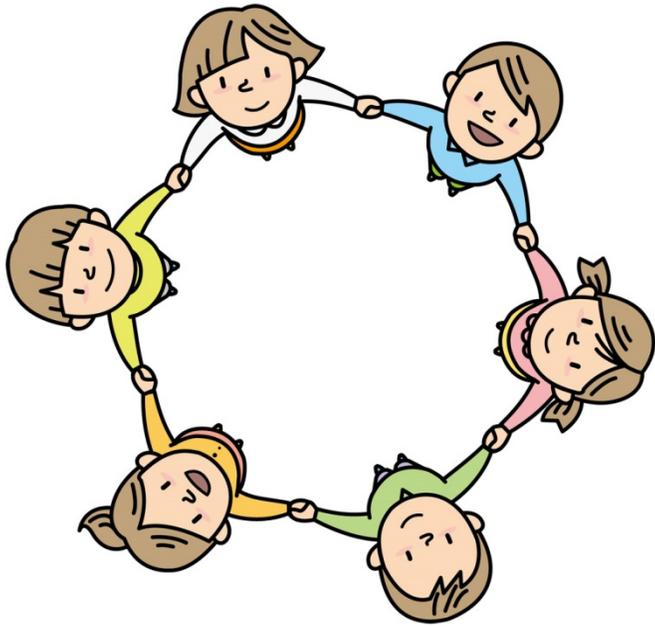
なお、第3回の総合教育会議について、現地視察や有識者の方をお招きしての講演会等を検討しております。

ご意見ご提案等ありましたら、お願いいたします。

	日 程	会 場
第3回	1月31日(水) 13:30～	新庁舎3階 会議室3-3(予定) (決定次第お知らせいたします。)

以 上

地域における子どもの育ちや見守りについて ～**まりあ食堂**の活動をとおして～



まりあ食堂スタッフボランティア
鳥生 文子

ようこそ！ まりあ食堂へ



もしも、ひとりでごはんを食べるなら、たまには、みんなで。

まりあ食堂コンセプト

- もしもひとりでごはんを食べるなら、たまには、みんなで。
- 地域の子どもの育ちを「食」を通じて見守っていきます。
- 子どもでも、ひとりで入れる食堂。
- 健康な心と身体を育てるお手伝い。
- 食事を大切に、自分を大切に。



まりあ食堂オープンに向けて



- オープンまでの経緯
- 教会メンバー→講演会わかちあい
(@藤沢教会「子どもの貧困」について)
- 教会メンバーと地域メンバーとのお見合い
→コラボレーション
- 事前準備
(広報、食材、保険、ボランティアスタッフの確保他)

活動内容

- 主催：チーム教会(片瀬教会有志)+チーム片瀬(地域有志)
 - 活動場所：カトリック片瀬教会 または
シャルトル聖パウロ修道女会ナザレト修道院
 - 活動時間：毎月第一木曜日 15:00～19:00
 - 内容：子ども食堂(食事の提供)と遊び(バスケットボール 卓球他)
 - 対象：子ども、子どもと一緒にの大人
 - ボランティア：チーム教会、チーム片瀬、高校生、大学生、
ユースワークふじさわ、若手ケースワーカー・・・
- ※遊びの場面で、片瀬こま保存会、せみの会にご協力いただいています。
- ※参加者数：1回目～18回目平均90人(ボランティア、見学者含む)

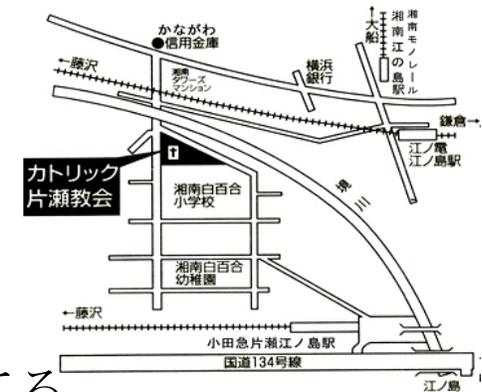
もしも、ひとりでごはんを食べるなら、
たまには、みんなで、まりあ食堂で



まりあ食堂 in 聖ヨゼフ片瀬カトリック教会

まりあ食堂 コンセプト

子どもでも ひとりではいれる食堂
食を通して健康な心とからだを育てる
食事を大切に、自分を大切に



2016年 6月2日 (木曜日) 子ども食堂オープン!

場所：カトリック片瀬教会

対象：だれでも 無料

◎日時：毎月一回～ 15時～18時

◎メニュー：パスタ サラダ

第1回 6月2日(木)

- 参加人数:子ども7人 大人4人
- 見学者:17名
- ボランティア17名(地域3人、教会14人)
- メニュー:パスタ(野菜たっぷりの手作りミートソース)、
サラダ、フルーツ



もしかしたら、ボランティアだけでの食事になるかも、
‘覚悟’を決めてスタートしました。

振り返り

- 地域で心配している親子、声をかけたかった親子の参加があった。
- 経済的困窮に焦点を絞るのではなく、子育てに課題を抱えた家族の支えになりたい。(時間の貧困、人間関係の貧困)

子どもの貧困(大人が貧困)は見えづらい

→貧困は経済だけの問題ではない!!

- 食事はおいしかった。献立はいろいろ試したい。手作りケーキ、パンの差し入れがあってよかった。
- 次回のチラシには「遊べること」「おうちの人に声をかけてきてね」などのメッセージをいれるとよい。
- チラシ配布先: 藤沢市社会福祉協議会、地域の小学校、保育園、子どもランド、藤沢教会など。

利用者の声

- また来たい。楽しかった。帰りたくな～い。
- 子連れの外食は初めて！こういう場所があるのはありがたい。
- おいしかった。野菜がたくさん入っていると聞いて驚いた。
- 教会があったなんて！入ってみたら楽しかった。
- 卓球、バスケができて楽しかった。
- 参加のきっかけ→保育園でチラシをもらった。子どもランドでチラシをもらった。ご近所の方に誘われた。藤沢教会(きずなレッジ)でチラシをみた。

6月2日 あの日のひとコマ... ♪



野菜たっぷり～のミートソースを



いただきます



第2回 7月7日(木)

- 参加人数: 子ども50人 大人22人
- 見学者: 25名
- ボランティア17名(地域4人、教会13人)
- メニュー: 七色そうめん、炊き込みごはん、フルーツポンチ

七夕の笹と短冊を用意しました。



利用者の声

- また来た。次もまた来たい。
- おいしかった。
- 祖父母が近隣にいなくて忙しいので、この食堂があると思い、日中頑張れた。
- 卓球やバスケットボールができて楽しかった。
- 子どもから聞きました。ありがたい。



ボランティア、見学者の声

- 場所が開放的で全体を見渡せて安全。安心感もあり、とてもよい。
- 地域の方と教育のコラボが自然に発生していて素晴らしい。
- ベビーカーをひいていらした若いママを見て、活動の意義を実感。
- おしゃれでかわいらしい雰囲気。のれん、七夕飾り等もよい。
- 前回参加された子ども、親子がほぼリピーターとなり来てくれたこと、仲間を連れてきたことがうれしい。
- 18時間際まで、ゆっくり出かけてくる方もあり、食事時間、終了時間を明記したほうがよい。小学生の帰宅時間の問題。
- 「食堂を必要として子どもが来ているか」と聞かれた。

7月7日は... こんな感じでした



もしかしたら、今なにかに困っている子も...
今は困っていない子も...
みんなが元気に来られる場所であるように～
思いはひとつ



七夕の日...七色のおそうめん



盛り付けの様子



七夕かざりでおむかえ





「なんかわからないけど、たのしいね。」
子どもものこんなことばに支えられて～

第3回 8月4日(木)

- 参加人数: 子ども37人 大人10人
- 見学者: 14名
- ボランティア27名(地域9人、教会18人)
- メニュー: お楽しみカレー、お楽しみポンチ
- 場所: シャトル聖パウロ修道女会
ナザレト修道院(教会は他団体使用のため)



猛暑のなか、案内や安全確認のため外回りのボランティア。
キッチンボランティアは大鍋のカレーを運んだり、ごはんを炊いたり。
フロアではゲームのリクリエーションゲームのプロ登場。

利用者の声

- すぐ近くに越してきて住んでいるけど初めて来ました。楽しい。
- おいしかった。また来るね。
- おいしい。でも時間が早すぎると、また、お腹すいちゃう。
- 遊ぶものがなかったけど、ゲームはおもしろかった。
- 参加のきっかけ→道で見守りボランティアに聞いて。保育園でチラシを見て。

ボランティア、見学者の声

- 見守っていると、子どもたちが大人の声かけに対し、いい具合に用心深く、安心した。
- ボランティアも充実していてすごいと思う。
 - ★ボランティア...レクゲーム(せみの会)の「も～さん」
学生団体MOP(My Own Place)の「にょんちゃん」
- ・今回も継続して何かしら声かけをしていきたいご家族の利用があるように見受けられた。
- ・若いお母さんが、困ったり疲れている友人を誘い、支える輪が広がることで、子どもたちがのびのびと落ち着いた環境で育つことにつながる実感できる。レスパイト(小休止・休養)に活用してほしい。

暑い～一日はこんな感じでした... ♪



ナザレト修道院をお借りして...



楽しいゲームと巧みな話術に夢中！



ボランティアはレクゲームの「も～さん」 27



お楽しみカレー...
よく食べる



第4回 9月1日(木)

- 参加人数:子ども42人 大人16人
- 見学者:6名
- ボランティア18名(地域6人、教会12人)
- メニュー:唐揚げ、ごはん、ミネストローネ、
チャプチエ、フルーツポンチ



どうしても、お肉を!しかも子どもたちが大好きな唐揚げを提供したいね。と、キッチンでは初の揚げ物を!

利用者の声

- 初めてで不安だったけど安心した。また来ます。
- 唐揚げとフルーツポンチが好き！
- 「今夜はこれがある!」と思って昼間仕事頑張りました。



ボランティア、見学者の声

- 食堂が一つになってきたように見える。
- 本当に来たいと思う人が来られている。
- 中学校からも校長先生が見学参加され、励ましのおことばをいただいた。保育園、小学校、中学校の理解も深まっている。



「どうしても！食べてもらいたいよね、唐揚げ」
こんな一日でした...



卓球・ボール遊び・おしゃべり・・・



あの子、この子、ママたち...



ママ友たち、差し入れ持参...

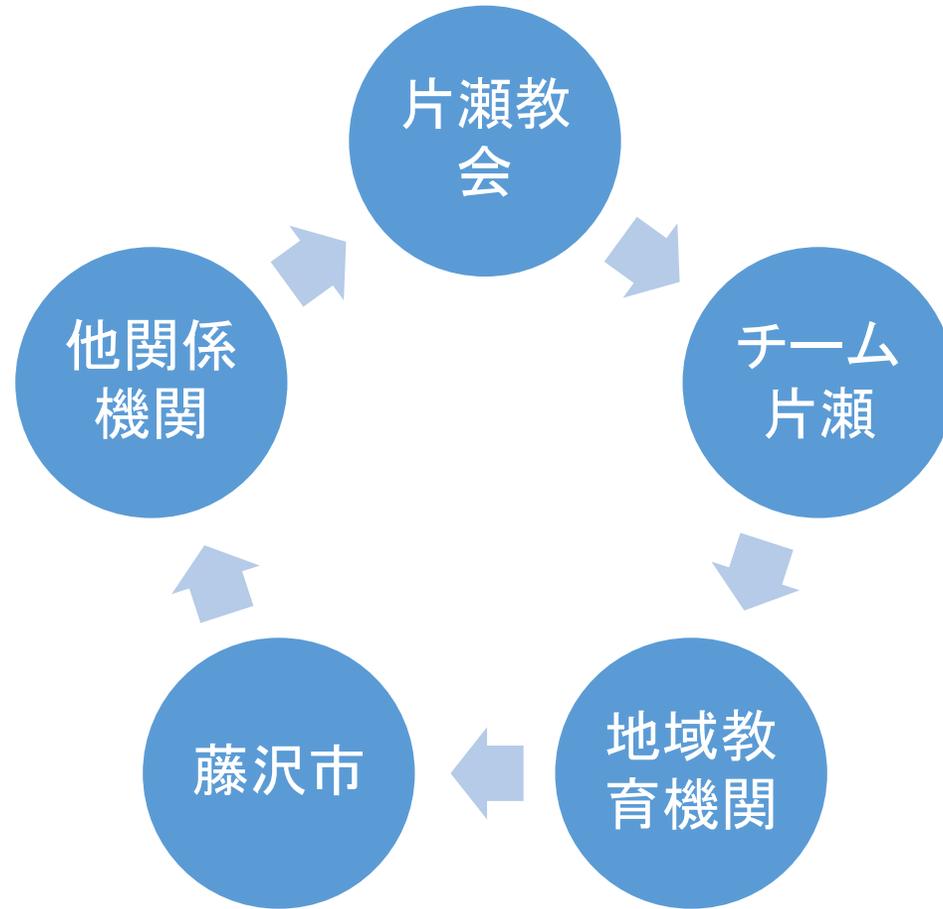


振り返り

- 活動の主旨を尋ねてくださったママ。「数年後、子どもさんが大きくなったら一緒にボランティアをしようね」...ささえあいの輪が広がる。
- ひとりで来て、ひとりで帰る子。見守りボランティアの伴走により無事にお家に帰る。→二人体制で玄関前まで送っています。
- 近隣の方より、「広告紙で作ったオリジナル紙ひこうき」の差し入れも。
- ご寄付、差し入れありがとうございます。

そして、私たちの子ども食堂とは。
スタッフは何度も確認しあいました。
そんなときに出会った湯浅誠さんの理念整理。

まりあ食堂エコマップ

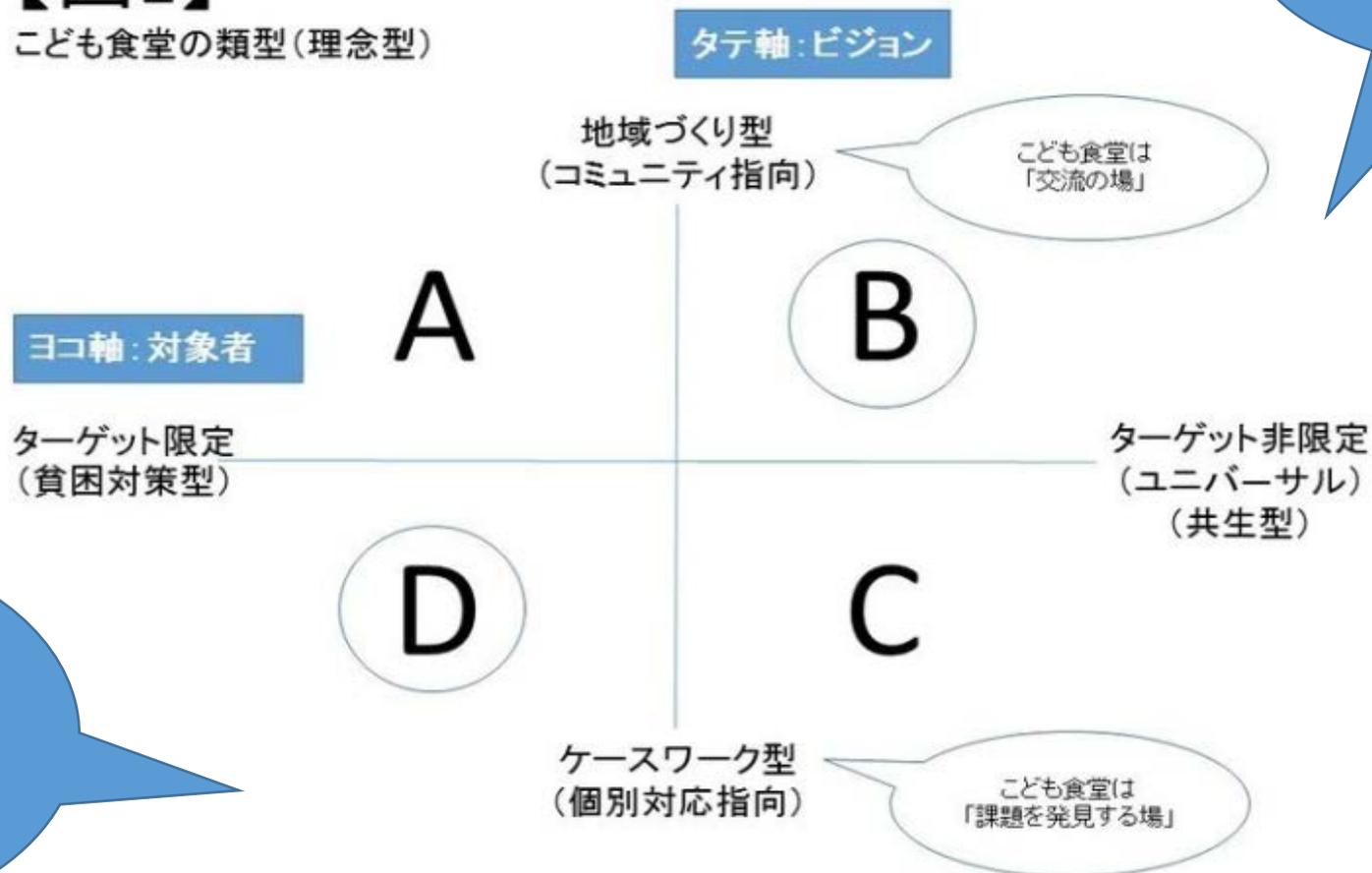


子ども食堂とは何か・・・

- 「子ども食堂」の急な広がり、疑問・戸惑い
- 同時に、子ども食堂に対する疑問や戸惑いを聞く機会も増えた。
- 「子ども食堂とは何なのか？」「子どもの貧困対策なのか？」
- 「大人は行っていいのか？」
- 「誰のため、何のためにやるものなのか？」
- 「目指すところはどこなのか？」
- 明確な定義も枠組みもないまま、その敷居の低さ、とっつきやすさから、「何かしたい！」という自分の気持ちを表すための一つの手法・ツールとして広がっている。

図①

【図1】
こども食堂の類型(理念型)



- 2016.10.16 「こども食堂」の混乱、誤解、戸惑いを整理し、今後の展望を開く 湯浅誠氏より

よく出る質問～課題と考えられること

- 1) 人
- 2) お金・食材
- 3) 場所
- 4) 広報・周知・連携
- 5) 2つのホケン(保健と保険)



まりあ食堂は...というと...



1・人 2・お金、食材

1) 人→スタッフ(立ち上げたときのメンバー)とボランティア。

2) お金→スタート時はスタッフの持ち寄り。そのうち、教会信徒から定期的なご寄付が……。数回目以降は受付に見学者・利用者向けの「お気持ち箱」を設置しました。

食材→スタート時はスタッフの持ち寄り。信徒の寄贈。PINYさんからご寄付。今は藤沢市農福連携事業によるJAからの野菜提供を利用。その他、他地区のお寺から缶詰の寄贈をいただいています。

3・場所 4・広報、周知、連携 5・2つのホケン

3) 場所→教会施設を活用。はじめたころはいろいろな声が・・・。

4) 広報、周知、連携→スタート時はチーム片瀬中心に学校、保育園、子どもランドにチラシ配布。自治会の掲示板にも！市の社会福祉協議会や市役所内への周知、見学を歓迎。

5) 2つのホケン(保健と保険)→公衆衛生は消毒を徹底的に学習し実践。保険は傷害保険と損害賠償保険のセットに加入している。

遊んで！ 笑って！ 食べて！



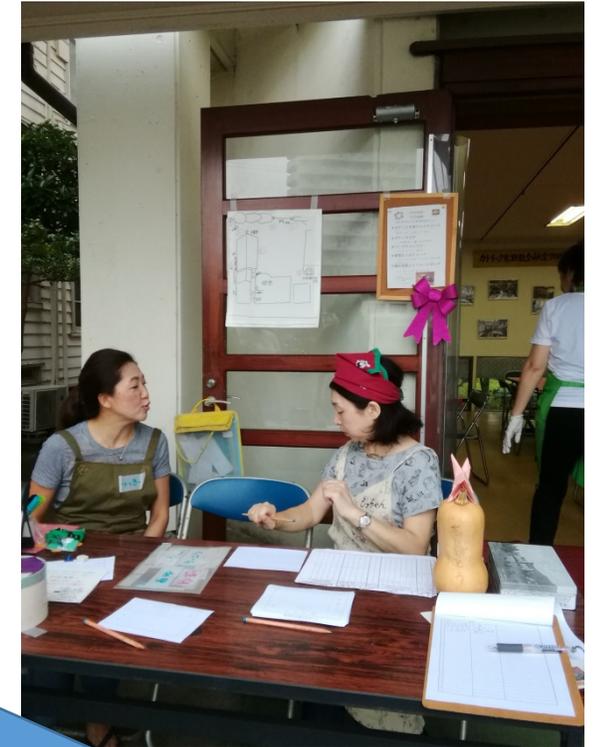
あのママも!!親子で盛り上がった
「片瀬こま」!



ネットを張るそばから待ちきれないよう。

子どもも、大人も、

‘ありがとう。’
の言葉が彫ってありました。
農福連携事業による
JAわいわい市からいただきました。



若者(隣ではおばちゃんも!)
東の間の団らん!

つながる「わ」を大切に



利用者も、ボランティアも



居心地のよい場所であるように

これからのまりあ食堂！！ これからもまりあ食堂！！



- もしかしたら、困っている、いらだっている人がいるかもしれない。
お金に困っている人も、人との出会いに困っている人も、時間に困っている人も。
おとうさん、おかあさんのお休み処。
- みんなが困り事を安心してつぶやける場であるように。
子どもたち、私たちの未来が明るくあるように。
食を通して、子どもの育ちを見守る場を継続していきましょう♪
そして次世代につながったら何よりですね♪

